

せいじ 便り 14号

揺るぎなき挑戦!!

無駄撲滅PTの公開会議において
事務局次長として会を取り仕切る。

お詫び

9月1日(月)、福田総理大臣が辞任を表明しました。晴天のへきれきであり、原油高・物価高などによる景気状況の悪化により、日本経済の先行きも混沌とし、国民生活の安定に向け課題が山積している時期の総理辞任について、国民の皆様から心からお詫び申し上げます。

昨年来、衆議院と参議院で多数党が異なるという状態が続き、与野党での政策合意がなかなか得られない厳しい現実の中、福田政権は、公務員制度改革、消費者行政の推進、道路特定財源の一般財源化など、静かではあります。改革を進め着実に成果を挙げてきたところでもあります。責任をもって、もうひと踏ん張りすべきだったというのが率直な思いであります。

今後総裁選挙が行なわれることになり、安倍前総理、福田総理と二代にわたり任期中での辞任との結果を重く受け止め、世代交代を通じて清新なリーダーを選べるよう、徹底した政策論議を展開しなければなりません。私たち若い世代が新たな政治を構築するため、襟を正して、今後とも取り組んでいく所存であります。あらためて、皆様にお詫び申し上げます。

木原 誠二

緊急経済対策の決定

せいじ便り夏季号外のとおり、当面の日本経済・財政の運営は、

2～3年の緊急的な経済対策の実施

その間の徹底した無駄撲滅

3～5年後の抜本的税制改正

という道しかなかった。今回、以下を内容とする緊急経済対策が政府・与党で決定されたことは一歩前進です。そして、この経済対策と両輪をなすのが、税金の無駄遣い撲滅であり、しっかりと取り組んでまいります。

〈緊急経済対策の柱(8月29日決定)〉

- 母子家庭などへの生活資金支援、
- 高速道路料金引下げなどの物価高対策
- 定額控除方式による特別減税の実施
- 高齢者医療対策、新型インフルエンザ対策
- 中小企業への資金繰り対策
- 省エネ・新エネ転換加速のための助成
- 学校等の耐震化加速 等

無駄撲滅で見えてきたこと

「昼食代も削っている」のに…

税金無駄遣い ↓ 許せない。

犯罪性あるものは刑事訴追も…

やみ闇専従などは×だ。

「税金だから大丈夫」の意識変化…

税金で運動会は×だ。

制度改革が不可欠な無駄撲滅…

公益法人・予算編成の改革

昼食代も削っているのよ...

久しぶりにお盆で、家族や親戚に会って言われたこと、「無駄遣いやめろ」です。サラリーマン家庭で育った私、会社勤めをする兄も従兄弟も、給料がじりじり下がる状況です。「**昼食代も削ってんだぜ**」という憤り。税金の無駄遣いが許されるわけがありません。

無駄遣い撲滅チームの事務局長補佐、また道路関連法人改革チームの主査として、無駄撲滅に携わってきました。結論はまだですが、私なりに方向性が見えてきました。

犯罪性のあるものは刑事訴追も

まず、犯罪性のあるものと、ないものを分けること。犯罪性のあるものは、**刑事責任も追求**しなければなりません。例えば、タクシードライバー問題で、もし、わざと高い運賃を払い、その分商品券で返還してもらっていたとしたら、犯罪です。他方、タクシードライバーの使いすぎについては、国会での質問や質問趣意書の提出時間の改善などが必要です。国会答弁作成のために深夜まで役人が残業する現状は馬鹿げています。

犯罪性のある無駄遣いという意味では、厚生労働省で判明した「**やみ専従**」があります。許可も得ずに専従で組合活動だけをやりながら、仕事もせずに税金から給料を受け取るわけですから、明らかに犯罪です。

税金だから...、コスト感覚なく...

次に、ゴルフボールやアロマオイルの購入など、明らかに無駄遣い。無駄撲滅PTでも同様の事例が見つかっています。また、職員の運動会や絵画展などの**レクリエーション経費**。この厳しい時代に、漫然と続けるわけにはいきません。いずれも直ちに止めさせます。

更に、税金だから**無節操**に使ってしまう無駄。

例えば、**広報経費**。各省には多くの広報雑誌がありますが、国民への広報なのに、発行部数が僅か数千部であったり、特定の団体にだけ配っているものがあります。こうしたものは原則廃止、版權自由にして、**ホームページ上に掲載**する方向に転換していきます。同様に、「○○シンポ」、**「○○記念式典」といったイベントものも**、必要性を厳しく精査していきます。

大仕掛けな無駄撲滅

キメ細かな無駄撲滅に加えて、制度改革などで対応すべきものがあります。

第一に、**公益法人**などに関わる支出。税金からの支出が大半で、それがなければ存続できない法人や役員の大半が天下りの法人などは、**原則整理・廃止**が必要です。福田総理も既に、「公益法人向け支出の3割削減」を宣言していますので、徹底して取り組んでいきます。

第二に、せいじ便り11号でも紹介しましたが、いわゆる「**前年同額**」もの。いったん予算がつくと、その成果などが検証されずに、何となく続いていくものがあります。これは、**財務省の組織改編、予算編成方法の改革**で整理していくべきです。具体的には、財務省主計局を予算査定局と予算監査局に分割して、事後チェックを徹底するほか、単年度予算から**複数年度予算**にあらため、2年目、3年目は予算監査を集中的に行うサイクルにする必要があります。

第三に、いわゆる「**プロジェクトもの**」。文部科学省の予算をチェックした際、「プロジェクト予算」について、成果目標が不明確、民間や自治体の先進事例があるのに、その経験が活かされず、単なる後追いになっている、全国展開の財源見通しが無い、など多くの問題点が判明しました。今後、全省のプロジェクト予算を重点チェックしていきます。

木原せいじ事務所

■国会事務所 〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館606号室
TEL: 03-3508-7606
FAX: 03-3508-3986

■地元事務所 〒189-0013
東京都東村山市栄町2-22-13
松岡ビル2階
TEL: 042-392-4105
FAX: 042-392-4106



木原せいじモバイル
<http://qtv60.com/kihara/>
携帯電話から木原せいじ
モバイルにつながります。

ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。



国会見学に行きませんか?!

随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。



木原せいじプロフィール

- ・私立武蔵中学・高校、東京大学法学部卒業
- ・大学時代はテニスで全国選抜3位
- ・平成5年大蔵省(現財務省)入省、主計局、大臣官房、国際局課長補佐、税務署長歴任
- ・その間、英国大蔵省出向(初代)
- ・平成17年9月 衆議院選挙当選
- ・現在、厚生労働委員会、内閣委員会、拉致特別委員会、各委員。党では、国際局次長、青年局次長、女性局次長、学生部参与。
- ・趣味はテニス・ピアノ・散歩。座右の銘「至誠通天」。
- ・著書「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

